

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成21年10月6日

【評価実施概要】

事業所番号	2270800036
法人名	有限会社 夢無限
事業所名	グループホーム 夢無限 おおひと
所在地 (電話番号)	静岡県伊豆の国市田京929-5 0558-77-0018
評価機関名	セリオコーポレーション有限会社
所在地	静岡市清水区迎山町4番1号
訪問調査日	平成21年8月21日

【情報提供票より】(平成21年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年6月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	24 人	常勤 9人/ 非常勤 15人/ 常勤換算	17.2人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造平屋建て 1階建ての1階	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	¥55,000	その他の経費(月額)	¥12,000
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	昼食	
	夕食	おやつ	
または1日当たり ¥1,000			

(4) 利用者の概要(平成21年8月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名		
要介護3	7 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 86.9 歳	最低	74 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	田京診療所
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地からやや離れた山間に立地し、自然豊かな環境にあるが周辺には民家が散在しており、地域住民との交流は少ない。しかし、平屋建てのホームは、ゆったりと清潔で明るい雰囲気を出している。これらは、利用者が他のユニットを気ままに行き来したり、各々自由に趣味や得意なことなどを活かした暮らし方、あるいは利用者自身にやる気を持たせた支援をすることによって作り出されている。また、雨天以外は屋外で職員とともに新鮮な空気の下でフレッシュすることを日課としていることも挙げられる。特異なこととして、利用者間のトラブルを少しでもなくそうと、利用者の発案で「つるかめ委員会」を立ち上げ、利用者自らがトラブル防止に一役買っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価の改善課題について、全職員がその評価の意義を理解した上で、具体的な改善に前向きに取り組んでいる。また、外部評価調査報告書を事務所前の面会受付場所に置いて公開し、家族等からの改善意見等を求めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員が作成に参加しホーム長がまとめた。外部評価の改善課題についても、全職員がその評価の意義を理解した上で、具体的な改善に前向きに取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1回継続的に開催されている。会議には地域包括支援センター職員、民生委員、家族等の代表、ホーム長及び職員が参加し、ホームの現況やサービス内容の説明、家族等や地域からの要望、行政からのアドバイス等が話し合われ、サービス向上に活かしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>運営推進会議に家族等の代表が交替で参加しているため、その中で家族等の意見、要望を聴くほか、家族等との面会時には積極的に意見を聴取する努力をしている。家族等の意見は全体会議、ユニット会議等で職員全員が共有し、ホーム運営に活かしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会への参加や近隣住民との交流に努めてはいるが、人口の少ない立地であることに加え、ホーム建設時の経緯もあり、一部地域住民との交流や自治会の協力は十分と云えない。地域の理解が得られるよう更なる努力を期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりの暮らし方を大切に守り、地域の方々と交流しながら笑顔があふれるホームをつくります」という理念を、職員全員で新たに作成し、課題となっている地域住民との交流の活発化を目指している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関及び居間に掲示するほか、重要事項説明書、運営規定にも記載している。また、全体会議等でも確認し合い、ホーム長と職員は理念を共有し、日々のサービスに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会への参加や近隣住民との交流に努めてはいるが、人口の少ない立地であることに加え、ホーム建設時の経緯もあり、一部地域住民との交流や自治会の協力は十分と言えない。	○	建設時の経緯を解消すべき努力を更に押し進められることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員が作成に参加しホーム長がまとめた。外部評価の改善課題についても、全職員がその評価の意義を理解した上で、具体的な改善に前向きに取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回継続的に開催されている。会議には地域包括支援センター職員、民生委員、家族等の代表、ホーム長及び職員が参加し、ホームの現況やサービス内容の説明、家族等や地域からの要望、行政からのアドバイス等が話し合われ、サービス向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の地域ケア会議に出席するほか、市担当者とは日常的にホーム運営等について相談に乗ってもらっており、市は協力的である。また、施設の空き情報交換等も継続的に行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	季節ごとのホーム便りの中で、ホームの活動を知らせるとともに、個々の利用者の家族等に担当者からの一筆箋による利用者の近況報告や写真を同封し、暮らしぶりや健康状態を報告している。合わせて、家族等の来訪時にも逐次近況報告を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族等の代表が交替で参加しているので、その中で家族等の意見、要望を聴くほか、家族等との面会時には積極的に意見を聴取する努力をしている。家族等の意見は全体会議、ユニット会議等で職員全員が共有し、ホーム運営に活かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最近、退職者は少なく異動も極力抑えているが、やむを得ず発生した場合は、利用者に影響が出ないように留意している。また、全職員が全利用者との馴染みの関係になるよう、2ユニット間の交流を密にしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や通信教育への参加を奨励している。定期的に外部研修に参加させている他、通信教育を受講中の職員もいる。研修参加者にはレポート提出とホーム内での伝達研修を実施させ、情報、知識の共有を図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホーム長は毎月、市の地域ケア会議において地域の同業者と交流を持っている。また、職員も時期をみて他施設を見学するなど、サービス向上に役立たせている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用相談があれば、本人宅、病院、施設等に出向いて利用者や家族等と面談している。また、利用前には利用者や家族等の見学を受入れるとともに、他の利用客との交流や敬老会等催事への参加により、雰囲気に徐々に馴染めるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員全員に人生の先輩を敬い、大切にするという意識が徹底している。利用者は、食事メニュー作り・食事の準備・食事の後片付け・食器洗い・洗濯物たたみ等、できることをそれぞれ楽しみながらやっている。職員は、利用者から学んだり、励まされることも多い。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ホーム長、職員とも丁寧な言葉遣いと優しい態度で利用者一人ひとりに接しており、その思いや希望を日々のふれあいの中で把握している。また、家族等との面談時には意向を聴取し、それを会議等で報告し、職員全員で共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時のアセスメント、利用者や家族等の希望、医師の意見に加え、担当者全員がユニット会議等で意見、アイデアを出し合い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、3ヶ月ごとに見直しを実施している。また、顕著な変化がある時は、毎月の全体会議、随時開催のユニット会議で話し合い、見直しを実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医等への通院介助を日常的に行っているほか、自宅への定期的な外出、外泊への支援もしている。また、医療連携体制を活かして、週1回、訪問看護師の利用者一人ひとりとの面接、相談を実施し、健康管理に留意している。	○	管理者及び職員の知識を活用し、地域住民向けの介護、認知症についての研修会等を状況を見ながら開催する努力も、地域との交流活発化の面で望まれる。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族等の希望に合わせ、医療機関を決めている。また、近隣に24時間対応が可能な協力医を確保し、利用者の多くがこの協力医を主治医としている。協力医の月3回の往診があり、適切な医療体制がとられている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応について、ケア対応指針を作成し、家族等に説明の上同意を得ている。指針については、全体会議等で職員全員に徹底を図っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護規定を玄関に掲示し、職員への徹底を図るとともに、個人情報に関する記録、資料は事務室内の鍵のかかる場所に保管している。また、訪問記録を一覧とせず、個別にする等、適切な情報管理を実践している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりが、畑仕事、写経、読書、カラオケ、塗り絵、折り紙等、希望に合わせて過ごしている。職員は、利用者一人ひとりの要望やペースに合わせた支援をしている。また、ユニットを越えた利用者間の交流も見られる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作りから下ごしらえ、調理、配膳まで、利用者の参加、協力を得ている。職員全員が利用者と同じ食卓を囲み、同じ食事をしている。また、片付け時は希望者が多いため、利用者それぞれの力に合わせ分担してもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴日以外にも希望に合わせて他ユニットの入浴日に変更できる。また、必要に応じ、シャワー浴が可能であり、柔軟に対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみや畑仕事、食事の準備から片付けまで等、利用者ではできる範囲で役割を分担している。また、写経や読書、カラオケ、折り紙、塗り絵、音楽鑑賞等、好みに応じ幅広く楽しみごとや気晴らしを支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	恵まれた環境の中、一人であるいは気の合う仲間との近隣や公園への散歩、お寺参り、花見、買い物、ドライブ等、利用者一人ひとりの希望に沿い、外出支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は施錠せず、玄関横の事務室で出入りの確認をしている。また、1フロア内に2ユニットが併設され、利用者がお互いに自由に行き来できるように鍵はかけられていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は年2回実施している。また、火災通報器、消火器、排煙装置等必要な設備は完備し、水、食糧の備蓄を行っているが、家具の固定が実施されていない。	○	地震対策として、共用の空間及び居室とも家具類の固定の実施が望まれる。また、災害発生時に避難場所として地域住民を受け入れることについて、地域交流活発化の面から検討することも望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事や水分の摂取量を記録している。また、グループ他施設の栄養士に年2、3回の献立表のチェックを依頼し、改善のアドバイスを受け、その結果を献立改善に反映させている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は天井が高く開放感がある。壁には季節感を取り入れた利用者の作品や掲示物が掲示され、居心地が良い。また、職員は常に温度調節に気を配っており、ホーム全体が快適な室内温度に保たれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	広く清潔な室内に大型のクローゼットが作り付けられている。使い慣れた整理ダンス等が置かれ、趣味の道具、テレビ、家族等の写真等が自由に持込まれており、自宅と同様の生活を送れるよう工夫されている。		